

# 佐賀県三養基郡基山方言の待遇表現

久保山 雅弘

## I. はじめに

- (1) 調査対象地：佐賀県東部に位置する基山町は、佐賀市から40km、福岡市から23kmにある。基山町の北部には国の特別史跡基肄城のある基山、西部には九千部山がそびえている。人口18821人、世帯数5523戸。産業別人口の割合は、第一次産業6%、第二次産業29%、第三次産業65%である。近年、福岡市のベッドタウンとして急ピッチで開発が進んでいる。
- (2) 調査年月日： 1997年8月30日
- (3) 話者：大久保シツカ 大正11年9月12日生(74歳)
- (4) 調査者・調査場所： 久保山雅弘、話者宅
- (5) 調査方法： 当該調査票による質問調査
- (6) その他：① 話者の説明は( )で括り、調査者の解釈は〈 〉で括る。  
② 回答のしかたについての注記を《 》で記す。

## II. 調査結果

### 1. 尊敬表現

#### 1-1 対者敬語

- (1) A お前は アナタワ  
元気かね ゲンキ シトン ネー。《誘導》/ゲンキ シトッタ ネー。  
\*ネーは友人や目下の人に使い、ナーは目上の人や、年長の人に使うことが多い。
- B あなたは アナタワ  
\* (名前で呼ぶことが多い。)との説明があった。  
元気かね ゲンキ シトンナサン ナー。/ゲンキ シトンナサッタ ナー。
- C あなたは アナタワ  
\* (名前や役職名で呼ぶことが多い。)との説明があった。  
元気かね ゲンキ シトンナサッデス ナー。/ゲンキ シトンナサッタデス ナー。《誘導》/オゲンキデ アンナサッデス ナー。
- (2) A あしたは家にいるか アシタ ウチ オン ネー。  
B あしたは家にいるか アシタ ウチ オンナサン ナー。/アシタ ウチ オンナサッデス カー。  
C あしたは家にいるか アシタ ウチ オラレマスジャロ カー。
- (3) A あした行くか アシタ イク ネー。

- B あした行きますか アシタ イキナサン ナー。／アシタ イキナサッジャロ カ。
- C あした行きますか アシタ イキナサイマス カー。／アシタ イキナサイマスジャロ カ。／アシタ イキナサイマス ナー。
- (4) A 温泉に行かないか オンセンニ イコカ ナー。
- B 温泉に行かれませんか オンセンニ イキナサレン ナー。
- C 温泉に行かれませんか オンセンニ イキナサレンデショー カー。
- (5) A しますか シナサン ナー。
- B されますか シナサッデショー カー
- (6) A 見ましたか ミナサッタ ナー。
- B 見ましたか ミナサッタデス カ。
- (7) A ゆうべは何時に寝ましたか ユーベワ ナンジゴロ ネナサッタ ナー。
- B ゆうべは何時に寝ましたか ユーベワ ナンジゴロ ヤスミナサッタデス カ。
- C 寝てください ナゴナッテクダサイ。
- (8) A どこに行っているか ドケ イキョン ナー。／ドケ イキョル。
- B どこに行っていますか ドコニ イキョンナサッデス カ。／ドコニ イキョンナサル。
- C どこに行っていますか ドッチ オイデヨンナサッデス カ。／ドチラニ オデカケデス カ。
- (9) A どうぞ食べてくれ ドーゾ タベテ ネー。
- B どうぞ食べてください ドーゾ タベテクダサイ。
- C どうぞ食べてください ドーゾ オアガリクダサイ。
- (10) A その写真を私に見せてくれないか ソン シャシンバ ウチニ ミシェンネー。
- B その写真を私に見せてくださいますか ソン シャシンバ ワタシニ ミシェテクダサイ。
- C その写真を私に見せてくださいますか ソン シャシンバ ワタクシニ ミシェテモラワレンジャロー カー。／ソン シャシンバ ワタクシニ ミシェテモロテ ヨゴザイマス カ。

### 1-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家に居るだろう アシタワ ウチ オロー。
- B あしたは家に居るだろう アシタワ ウチニ オンナサロー。
- C あしたは家におられるでしょう アシタワ ウチニ オンナサロー。
- (12) A 居なかった オラヤッタ。〈老〉／オランヤッタ〈若〉

- B 居なかった オンナサレヤツタ。  
 C 居なかった オンナサレヤツタ。
- (13) A そう言った ソギヤーン イヨンナサツタ。  
 B そう言った ソギヤーン イヨンナサツタ。
- (14) A 今そこに行っていた イマ ソコニ イキョツタ。  
 B 今そこに行っておられた イマ ソコニ イキョンナサツタ。  
 C 今そこに行っておられた イマ ソコニ イキョンナサツタ。
- (15) A 友達が来ている トモダチガ キトル。  
 B 来ている キトンナサル。  
 C 来ている キトンナサル。
- (16) A 仕事をしている シゴト シヨンナサル。  
 B 仕事をしている シゴト シヨンナサル。
- (17) A 見せてもらった ミシェチモロタ。  
 B 見せてもらった ミシェチモロタ。  
 C 見せてもらった ミシェチモロタ。
- (18) A 見せてくれた ミシェタ ヨー。《疑いながら》  
 B 見せてくれた ミシェナサツタ。《疑いながら》  
 C 見せてくれた ミシェテ イタダイタ。《疑いながら》／ミシェテ クレナ  
 サツタ。《疑いながら》
- (19) A 私にくださった ワタシニ クレナサツタ。  
 B 私にくださった ワタシニ クレナサツタ。
- (20) A いただいた モロタ。  
 B いただいた モロタ。

## 2. 謙譲表現

### 2-1 謙譲表現

- (21) A 私も ウチモ  
 B 私も ワタシモ  
 C 私も ワタクシモ
- (22) A 十分に食べました タクサン イタダキマシタ。  
 B 十分に食べました タクサン イタダキマシタ。
- (23) A 持ちましょう サゲマッショー。〈老〉／モチマッショー。〈若〉  
 ＊マッショーとマッショーとの使い分けは意識的には行われておらず、同じく  
 らいの頻度で使用されている。  
 B 持ちましょう オモチシマッショー。

- (24) A 待たせたね マチナガカッタロー。  
 B お待たせしました マタシェマシタ ナー。  
 C お待たせしました オマタシェシマシター。
- (25) A 駅で待っているよ エキデ マットコー。  
 B 駅で待っていますよ エキデ マットキマッシュォー。  
 C 駅で持っていますよ エキデ オマチシトキマース。
- (26) A 言ってくれ ユートッテー。  
 B 言ってくれ ユートッテ モラワレンジャロ カ。／ユートッテ クダサイ。  
 C 言ってくれ ツタエトッテ モラワレンデッシュォー カー。／ツタエトッテ  
 クダサイ。
- (27) A これをやろう コレバ ヤロー カー。  
 B これをあげましょう コレバ アゲマッシュォー。  
 C これをあげましょう コレバ オアゲシマッシュォー。

### 2-2 身内敬語

- (28) A 買ってやった コーテヤッター。  
 B 買ってやった コーテヤリマシター。  
 C 買ってやった コーテヤリマシター。
- (29) A 主人はもう帰っている ジーチャンワ カエッテキトリマス。  
 B 主人はもう帰っています ジーチャンワ カエッテキトリマス。

### 3. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イク ヨー。〈若〉／イク バナ。〈老〉  
 B 行きます イキマス。
- (31) A 寒いね サムカ ネー。  
 B 寒いね サムカデス ナー。  
 C 寒いね オサムーゴザイマス。
- (32) A 居るよ オル ヨー。  
 B 居ます オリマス。
- (33) A よかったねえ ヨカッタ ネー。  
 B よかったですねえ ヨゴザイマシタ ナー。／ヨカッタデス ナー。《誘導》  
 C よかったですねえ ヨゴザイマシタ ナー。
- (34) A そうか ソージャロ ナー。  
 B そうですか ソーデッシュォー。  
 C そうですか ソーデゴザイマッシュォー。

#### 4. 人間関係に応じた待遇表現

##### 4-1 特定表現の待遇表現

(35) その角を曲って右へ行くと～ ソコン カドバ マガッテ ミギサン イキナサイ。

(36) とんでもない ナンノジャロン。

##### 4-2 多人数場面の待遇表現

(37) 世話役を引き受けるときの言い方 ワタシグライナ ミブンデ ヤクニタチマス  
ナラバ。ノワタシグライナ ミブンデ ヨゴザイマスナラバ。

(38) 今度の旅行には参加者が少ないので、皆さん参加してほしい コンドン リョコ  
ーニワ キナサルヒトノ スクナカケンガ イロイロ ツゴーモ アリマシ  
ョーバッテンガ マングッテ デテキテクダサイ。

\* マングッテは「やりくりして。都合をつけて。」の意)

##### 4-3 位相による待遇表現

(39) 1. お寺の住職さん (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドッチ オイデヨンナサッデス カ。

2. 校長先生 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドッチ オイデヨンナサッデス カ。

3. 見知らぬ年配の男性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサッデス カ。

4. 見知らぬ年配の女性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサッデス カ。

5. 顔見知りの年上の男性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサン ナー。

6. 顔見知りの年上の女性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサン ナー。

7. 10歳ほど年下の見知らぬ男性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサッデス カー。

8. 10歳ほど年下の見知らぬ女性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドコ イキョンナサッデス ナー。

9. 同級生の男性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョン ナー。

10. 同級生の女性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョン ナー。

11. 10歳ほど年下の顔見知りの男性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョンナサン ナー。

12. 10歳ほど年下の顔見知りの女性 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョンナサン ナー。

13. 近所の中学生の男の子 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョン ネー。

14. 近所の中学生の女の子 (A) オハヨーゴザイマス。

(B) ドケ イキョン ネー。

### Ⅲ. まとめ

尊敬表現では、「ナサル」が頻繁に使われ、他地域でみられるような音変化がない。相手に対する敬意が高まるにつれて、「ナサル」、「ナサル」+「丁寧語（デス・マスなど）」、「オー」+「ナサル」+「丁寧語（デス・マスなど）」へと変化する。改まり意識が強いときに、共通語的な敬語がわずかに使われる。→附(2)C

謙譲表現では、「イタダク」「オー」「クダサイ」「アゲル」などの語が使われている。

丁寧表現では、「デス」「マス」「ゴザイマス」などの語が使われている。

(くぼやままさひろ 脊振村立脊振小学校久保山分校)